

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4- II -7

4- II -7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ガイドンス施設整備
節	II.ガイドンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	7 サテライトガイドンス施設整備	事業主体	佐渡市社会教育課
事業実施期間	R元～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課
事業概要	【事業目的】	○ 世界遺産の価値を分かりやすく来訪者へ伝えるため、メインガイドンス施設の整備状況に応じて、サテライト施設の整備を進める。	
	【事業内容】	○ サテライトガイドンス施設の機能整理及び整備を進める。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ● 相川郷土博物館耐震工事基本設計を行う。 ● 相川郷土博物館耐震工事前調査を行う。 ● 相川郷土博物館において、耐震工事後を見据えた、現地と関連付けた展示計画の作成。 ● 佐渡奉行所跡のインバウンド対策としての映像資料導入計画の作成。 	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 相川郷土博物館耐震改修工事基本設計策定のため、事前調査(地盤・建物調査)を実施した。(令和2年7月～令和3年2月) ● 相川郷土博物館耐震改修工事基本設計案について、史跡・文化的景観専門家会議や文化庁と協議を行った。(令和2年9月・12月、令和3年3月) ● 相川郷土博物館耐震改修工事基本設計を策定した。(令和3年3月予定) ● 相川郷土博物館の耐震工事後を見据えた、展示計画は令和3年度に作成する。 ● 佐渡奉行所跡の映像資料導入計画の作成は令和3年度に着手する。 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相川郷土博物館の展示内容を決定する必要がある。 ■ 佐渡奉行所の映像資料導入については、外国人利用者の実態把握や、映像資料導入のためのwi-fi設備の導入について、検討していく必要がある。 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和3年度 文化庁、新潟県、市世界遺産推進課と協議しながら、相川郷土博物館の展示計画案を策定し、耐震改修工事实施設計に反映させる。 ■ 令和3年度 相川郷土博物館耐震改修工事实施設計を行う。 ■ 令和4・5年度 相川郷土博物館耐震改修工事实施設計を行う。 ■ 令和3年度 佐渡奉行所の映像資料導入に関する基礎資料調査を行う。 	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 概ね計画どおり、目標を達成できたことからBとした。	
	【事業実施の効果】	[a・ b ・c]	
	【総合評価】	[A・ B ・C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。